

2006 年度

科目名 心理学A	対象学科・学年 文学部日文1回生 文学部英米1回生 文学部文財1回生	担当者 広沢 俊宗
授業テーマ 人間の行動と心理		
授業の概要と目標 現代人の生活領域が拡大し、それに関わる要因も複雑多岐に渡っている。本講では、さまざまなワークショップを体験することによって、そういう中での人間の行動について考え、その根底にある心の動きを解明していきたい。具体的には、「Ⅰ. 心理学とは」「Ⅱ. パーソナリティ」「Ⅲ. 発達」「Ⅳ. 学習」の4つの領域について学習する。		
評価方法 最終試験（100％）によって、評価する。		
テキスト ワークショップ 心理学 CAB検査	著者 藤本忠明・東正訓他 倉智佐一・山中範子他	出版社 ナカニシヤ出版 情報センター
参考書 ワークショップ 人間関係の心理学	著者 藤本忠明・東正訓編著	出版社 ナカニシヤ出版
授業スケジュール・内容 1. 心理学とは 心理学とはどのような学問かを、その研究領域の広さとさまざまな研究方法から理解する。 2. パーソナリティ (1) パーソナリティとはどのようなものか、また、その形成―遺伝か環境か―について学習する。 3. パーソナリティ (2) クレッチマーの性格類型論をもとに、類型論の考え方を理解する。 4. パーソナリティ (3) 性格検査を体験することによって、特性論の考え方を理解する。 5. パーソナリティ (4) さまざまなパーソナリティの測定法について概観する。 6. 発達 (1) 発達とはどのようなものかを生涯発達の視点から学ぶ。 7. 発達 (2) 発達の原理について理解する。 8. 発達 (3) 人間の一般的な発達段階と発達課題について学ぶ。 9. 発達 (4) 発達の諸相について学習する。 10. 発達 (5) 発達の諸相について学習する。 11. 学習 (1) 学習とはどのようなものかを遂行と比較しながら学習する。 12. 学習 (2) 古典的条件づけのメカニズムを理解する。 13. 学習 (3) オペラント条件づけのメカニズムを理解する。 14. 学習 (4) 学習性無力感とはどのようなものかを理解する。 15. 最終試験 今までの内容がどの程度理解できているかを試験によって把握する。		